



2024年度 入善小学校 学校経営構想

1 学校経営の方針

子供たちが社会でよりよく生きていく力を育む

一人一人の子供が夢や希望を持ち、お互いを認め合いながら、安心して楽しく学べる学校。ともに学び合い助け合い、笑顔あふれる教室。元気にあいさつをして地域の中で生き生きと学ぶ子供たち。毎日、楽しみに登校し、笑顔で下校する学校。入善小学校をそんな学校にしたいと考えています。

そして、子供たちは、今後、より変化の激しい未来社会を生きていく存在です。私たち教職員は、新しい時代を主体的に切り拓き、未来を担う子供たちの資質・能力を育む責任を果たすため、全教育活動において、子供のよさや可能性を伸ばしていかなければなりません。

そのために、「教える」から「育てる」への転換を図り、家庭、地域と手を取り合い、教職員が組織的に一体となって、互いを尊重し合い、切磋琢磨し、共に教育課題に粘り強く取り組み、学校教育目標の具現化を目指していきたいと思うのです。

2 目指す学校像、学校の教育目標、重点目標

◆目指す学校像

笑顔と学びにあふれ、地域とともに歩む、信頼される学校

◆子供たちへのシンプルワード

学校は、わたしとみんなが育つところ —自律と尊重—

◆学校の教育目標

じりつする子供の育成

じりつ＝自分で考え、判断し、行動する

◆育てたい子供像

自ら学ぶ子 大切にする子 やりぬく子

◆教職員で大切にしていきたいこと

対話の文化、対話を通じた本質の共有

◆授業改善へのキーワード

教え上手から学ばせ上手へ
— 教師のあり方と授業のやり方への挑戦 —

◆本年度の重点目標

- ① 学ぶ意欲の向上と主体性を大切にした確かな学力の育成
- ② 自他の生命を大切に、人権を尊重する豊かな心の育成
- ③ ねばり強く、諦めないで、最後まで努力を続ける子供の育成

3 重点目標へのアプローチ

① 児童の学ぶ意欲の向上と主体性を大切にされた確かな学力の育成

- 現行学習指導要領の趣旨や内容を踏まえ、GIGAスクール構想等、新しい学校教育の変化を的確に捉え、日常の研修を通して、「学習者主体の学び」への進化に取り組む。
- 「主体的・対話的で深い学び」の授業実現に向けて
 - ・子供自身が「問い」をもち、主体的に学べるよう単元を構想する。各教科の見方・考え方を教師が明確に捉え、子供が見方・考え方を働かせられるようにすることで、「深い」学びのある授業を実践する。
- タブレットの日常的な活用
 - ・タブレットの活用を日常化し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な実現に取り組む。『学び合い』、単元内自由進度学習等の子供主体の学びを取り入れる。
- プログラミング学習
 - ・論理的な思考力育成を意図し、各学年、計画的にプログラミング学習を取り入れる。
- 家庭学習の充実
 - ・子供の学習意欲の向上につながるよう日々の授業を充実させ、家庭との連携を図る。
- 現職研修の充実
 - ・新しい学校教育に的確に対応できるように、校内での「日常の研修」と県の新「研修受講システム」を効果的に活用し、教職員のスキルアップに務める。

② 自他の生命と人権を尊重する心の育成

- 学級、学年での意図的な人間関係づくりと豊かなコミュニケーション
 - ・活動を通して、コミュニケーションの量と対話の質を高めながら、温かい人間関係とお互いを尊重する態度を育む日々の教育活動の充実
 - ・「自分から進んで」「心を込めて」「自分で考え」挨拶や掃除、後始末に取り組みよう支援することにより、自尊感情や規範意識を育み、温かい人間関係づくり、学級づくりに努める。
 - ・総合質問紙調査等の各種調査や生活アンケート、教育相談等を生かし、一人一人のよさを認め、自己肯定感、自己有用感の育成に努める。
- 学校行事の充実
 - ・前年度の成果と課題を基に、「じりつ」のための具体的取組を通して、子供たちと共に創り上げる行事を目指す。今年度は、特に「委員会活動」を子供主体に取り組む。
- 異年齢集団により活動の充実
 - ・昨年度から開始した「縦割りグループによる給食」から、今年度は「縦割り遊び」の充実、そして「縦割り掃除」に取り組むことで、異年齢による学び合いによる育ちを見守る。
- 「じりつの時間」の設定
 - ・生活の中、社会のニュース等から価値観を問い、生き方、あり方を対話する。

③ ねばり強く、諦めないで、最後まで努力を続ける子供の育成

- 基本的生活習慣の確立
 - ・ゲームやネットのある生活を自分でマネジメントできるように保護者への啓発と同時に、「じりつの時間」や学級活動等でメディア・コントロールを問い続ける。
- 運動に親しむ習慣の確立
 - ・運動の環境を整え、気軽に運動に親しめるようにする。
- 体育科の授業の充実
 - ・体育科の授業研究、職員の研修を通して、子供が運動の楽しさや喜びを味わうことのできるよう授業の充実を図る。

4 アクションプラン

達成しよう！ 入善小学校 3つのアクションプラン

〈学校の教育目標〉じりつする子供の育成

自ら学ぶ子

大切にする子

やりぬく子

◆アクションプラン1 進んで家庭学習に取り組む

- ◎自分で決めた学習に取り組む。
- 宿題に取り組む。
- +αの学習(ぐんぐんノート、AIドリル、読書、音読等)に取り組む。
- 学年×10+10分以上学習に取り組む。

入小ゲンキッズ作戦で、それぞれの項目において、4日以上達成できる子供が80%以上になる。

◆アクションプラン2 進んで挨拶をする

- ◎家族や友達、先生や地域の人と挨拶をする。
- 家であいさつをする。
- 学校であいさつをする。
- 地域であいさつをする。

入小ゲンキッズ作戦で、「進んで挨拶をする」が4日以上達成できる子供が80%以上になる。

◆アクションプラン3 強い体をつくる

- ◎生活習慣を整える。
- 朝食の摂取
- 早寝
- 30分以上の運動 を心がける。

入小ゲンキッズ作戦で、それぞれの項目において、4日以上達成できる子供が80%以上になる。